

# 学生団体いきものずかんについて

学生団体 いきものずかん  
(執筆者名前 中村晃大)

## 1. 活動の目的

いきものずかんでは、主に幼稚園～小学2年生を対象としたわかりやすい環境教育を行っています。小さな子どもでも理解しやすいように、紙芝居やクイズ、折り紙などを使用して、楽しく学べる工夫をしています。将来の自然環境を守る担い手を増やしていくために、子ども達が少しでも自然環境に興味を持ち、自然を好きになる機会をつくることを目的に活動しています。

## 2. 海と空の約束プロジェクト

紙芝居「海と空の約束」を使用した読み聞かせを行っています。この紙芝居の作者である西谷寛さんと一緒に、主に神戸や明石の児童館、幼稚園を巡っています。紙芝居の後には内容や環境問題にまつわるクイズを出題して、子どもたちの理解を深めるようにしています。

また、海や川でのゴミ拾いの活動や子どもたちと野生の生き物と触れ合う活動などにも参加しています。実際のフィールドに出て、私たち自身も学び、感じたことを子どもたちに還元していこうと思っております。

## 3. オリジナル紙芝居「ゆうたくんとイヌワシ」

2016年度に「ゆうたくんとイヌワシ」というオリジナル紙芝居を作成し、こちらも「海と空の約束」と同じように読み聞かせを行っています。児童館や学内のエコフェス、人と自然の博物館で開催される「ドリームスタジオフェスタ」などで使用しております。読み聞かせやその後に行うクイズなどを通して絶滅危惧種であるイヌワシを知ってもらい、イヌワシや他の絶滅危惧種を守る啓発活動を行っています。

## 4. NPO、他団体との交流

「ひょうごユース eco フォーラム」や「共生のひろば」など、自然環境に関する活動を行う団体が集まる活動紹介の場にも参加しています。サミットやポスター発表などを通じて、活動を知ってもらったり、他団体の活動を知り勉強になったり、自らの活動の意義に気づかされたりと、様々な学びがありました。そういった出会いのご縁も大切にして、今後も活動の幅を広げていきたいと思っております。

## 5. 「あわじ菜の花エコプロジェクト」紙芝居作成

淡路県民局環境課の方からの依頼で、海と空の約束プロジェクトの西谷寛さんとともに、あわじ菜の花エコプロジェクトをわかりやすく伝えるための紙芝居を作成しています(2019年度内に完成予定)。このプロジェクトは、休耕田などに菜の花を育て、菜種油をしぼったり、廃食油を回収して燃料をつくったりと、クリーンなエネルギーや資源の循環を伝えていくことを目的としています。絵や脚本などを1から作成し、環境課の方々とも相談しながら進めています。完成したものは淡路島にとどまらず、私たちの活動でも使用し、広く伝えていく予定です。



図1. 紙芝居の読み聞かせの様子

(出所) 学生団体いきものずかん

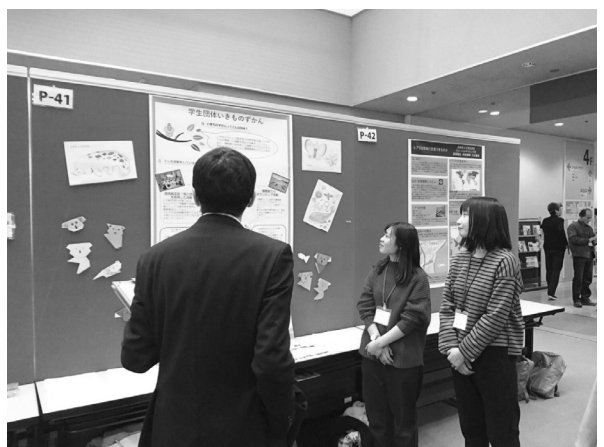


図2. ポスター発表の様子

(出所) 学生団体いきものずかん